

スタッフインタビュー

ほいくスタッフ vol.20

今回は高宮保育園の西先生にお話を伺いました。入社して2年目を迎えたばかりの心境など尋ねてみました。



リトルワールド
高宮保育園

西 悠梨奈 先生



高宮保育園で働くようになって、 子どもに寄り添える余裕が増えました

.....

中：リトルワールドで働き始めて1年が経ちましたが、前職の100名規模の園と比べて環境の違いはいかがですか？

西：2歳児だけでも16人という環境でしたが、今はその半分ほどなので、余裕を持って子どもたち一人ひとりに深く向き合えるようになりました。入社してすぐは緊張と不安もありましたが、周りの先生方が「大丈夫だよ」とあたたかく声をかけてくださり、とてもホッとしたのを憶えています。

また、持ち上がり担任だったこともあり、時間をかけて子どもたちの性格なども把握できて、スムーズに対応できるようになりました。



「一体何が始まるの？」西先生の手元に全集中の子どもたち。

日々の保育のやりがいと、成長を実感する瞬間とは？

中：日々の保育で特にやりがいを感じるのはどんなときですか？

西：保護者の方から「ありがとうございます」と言っていたり、子どもたちが自分で衣服の脱ぎ着やトイレが出来るようになったりしたときです。お友だちとのやり取りも、相手を受け入れるような対応が取れるようになった姿を見ると、「ああ、関わりが実を結んだんだな」と嬉しくなります。

中：保護者の方の感謝も、確かな成長を感じられているからこそだと思います。

柔和さを兼ね備えたスポーツ女子✨

中：スポーツ万能でフットサルや水泳、バスケットなどを経験されてきたそうですね。

西：体を動かすのが好きなので、保育の中でも積極的に外に出て遊ぶようにしています。

休日は地元・長崎のBリーグチーム「長崎ヴェルカ」の試合を応援に行ったり、時には家で好きなドラマを観てリフレッシュしています。

中：お仕事もプライベートもとても充実していて素晴らしいですね。本日は素敵なお話をありがとうございました！



りそなグループ B.LEAGUE 2025-26 シーズンで、見事優勝に輝いた長崎ヴェルカ！もちろん西先生も声援を送るためにスタジアムへ足を運んだそう



西先生は何と四姉妹！お休みが合えば、妹さんたちのバスケの試合を応援に行くというとっても妹思いな一面も知ることができました。